

# 日本開国と群馬の生糸

## — 鉄道・蒸気船・電信 —

佐藤 有（当館 学芸員）

8 月 3 日（土）13:30～15:00

幕末の開港以降、日本はさまざまな西洋技術を導入し近代化を果たしていきます。輸入する西洋技術は多岐にわたり、対して輸出の振興は国策として展開します。

そんななか輸出の最重要品目となっていたのが生糸でした。今回は、開国を受けて西洋技術が移入された結果、生糸生産地が近代化・変容していく姿についてお話しします。



東京高崎汽車往返之図（鉄道博物館蔵）

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：140 名

●参加費：無料

（企画展を観覧される場合（常設展も含む）：一般 800 円）

●申込方法：7 月 3 日（水）より、事前申込が必要です。

○当館 HP・右 QR コードから入力フォームへアクセス

○電話（027-346-5522（開館日の 9:30～17:00））

※状況により、内容に変更を生じる場合があります。

講演会④入力フォーム



群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町 992-1（群馬の森内）

TEL. 027 (346) 5522



ホームページ

